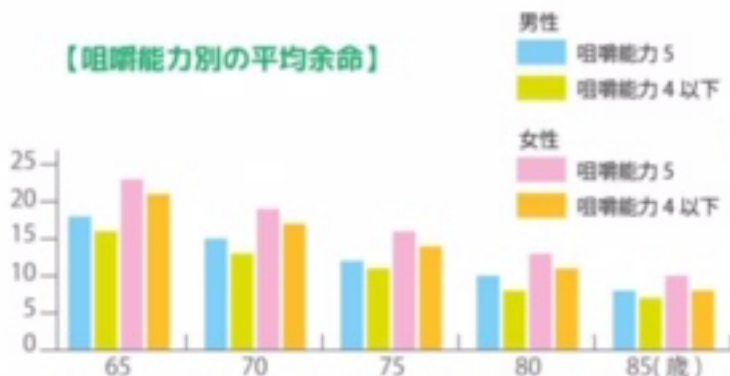




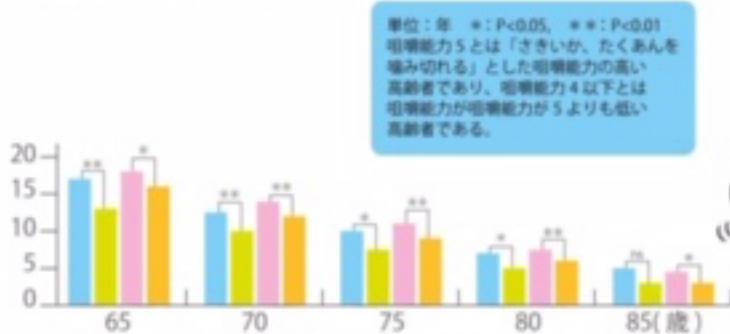
咀嚼能力と寿命

咀嚼能力が高い高齢者は、健康でいられる期間（健康余命）が長いと報告されています。平均余命は咀嚼能力により差はありませんが、健康余命は咀嚼能力の高い高齢者が長くなっています。したがって、健康で自立した生活ができる期間を長くするためには口腔の状態を良好に保ち、歯を失ったときには治療を行い、できるだけ咀嚼能力を高い状態に維持することが必要です。

【咀嚼能力別の平均余命】



【咀嚼能力別の健康余命】



単位：年 *：P<0.05, **：P<0.01
咀嚼能力5とは「さきいか、たくあんを噛み切れる」とした咀嚼能力の高い高齢者であり、咀嚼能力4以下とは咀嚼能力が咀嚼能力が5よりも低い高齢者である。

※平均余命は咀嚼能力によって差はなかったが健康余命では差が認められた。

